

中央大学教養番組「知の回廊」 特別講演会のご案内

JCN テレメディアチャンネルで好評放送中の『知の回廊』では番組内容への理解をより深めていただけるよう、今年度放送した番組の監修担当の先生による特別講演会を開催致します。

今回は、2月1日から放送の番組で取り上げた「台湾228事件」などを中心に取り上げる予定です。皆様ふるってご参加ください。

「悲情城市」の証言－台湾228事件と中大卒業生

1947年2月28日に発生した、台湾228事件。

推定死者数およそ2万8千人といわれる、台湾全土に広がった大量虐殺事件は、中国国民党による弾圧と戒厳令によって40年もの間隠蔽されていましたが、1988年に就任した李登輝総督による民主化が進むにつれて、その実態が明らかとなりました。

実は、この事件に巻き込まれた人たちの中には、中央大学など日本の大学で学んだ台湾人が多かったのです。現在の台湾は、こうした悲しい歴史と混乱の中で発展し続けてきたのです。

事件から66年が経過した2013年、中央大学FLPジャーナリズムプログラム・松野良一ゼミでは、事件に巻き込まれた中大卒業生を調査するためにプロジェクトを発足し、学生たちが台湾へ渡り、ご遺族の方々から直接お話を伺う、現地調査を進めてきました。若い学生たちが台湾の歴史を学び、いまの台湾を歩き、直接ご遺族たちとお会いして、生きた証言をまとめてゆく。学生たちによる台湾228事件の取材現場から、事件を振り返りつつジャーナリズム教育の意義を探ります。

< 講師紹介 >

松野 良一（まつの りょういち） 中央大学総合政策学部教授
専門分野 メディア論、ジャーナリズム論



1956年生まれ。九州大学教育学部（心理学専攻）卒業。筑波大学大学院教育研究科修了。博士（総合政策）中央大学。朝日新聞社会部記者、TBSプロデューサーを経て、現職。1996-97年、ハーバード大学客員研究員（フルブライト留学）。研究テーマの1つが、取材活動と能力開発の関係性について。また松野良一ゼミはこれまで、グッドデザイン賞、ポッドキャスティングアワード最優秀賞、「地方の時代」映像祭優秀賞、飛騨高山ドキュメンタリー映画祭大賞、「開発教育／国際理解教育コンクール」外務大臣賞、東京ビデオフェスティバル「筑紫哲也賞」など、多数の受賞実績を持つ。毎年、多くのゼミ生がマスコミ業界に就職する。著書に、『市民メディア論』（ナカニシヤ出版）、編著・監修に『映像制作で人間力を育てる』（田研出版）、『戦争を生きた先輩たちⅡ』『デジタル時代の人間行動』『市民メディア活動』（中央大学出版部）、訳書に『パブリック・アクセス・テレビー米国の電子演説台』（中央大学出版部）などがある。

日時： 平成26年3月13日（木）18：30～20：30（18:00～開場）

会場： 京王プラザホテル八王子5階（八王子市旭町14-1）

費用： 無料 120名様

申込締切日：3月4日（火）必着 ※お申込多数の場合は抽選となります。

申込方法は裏面をご参照ください。

主催： JCNテレメディア・中央大学

お問合せ

JCNテレメディア



0120-914-000